



## 平成 28 年度 蘇遙会情報誌

熊本大学工学部  
土木環境系教室

[Http://www.web-dousoukai.com/soyoukai/](http://www.web-dousoukai.com/soyoukai/)

# ご 挨拶

蘇遙会会長 北園 芳人

蘇遙会会員の皆様にはいかがお過ごしですか。

今年度当初の熊本地震でリズムが全く狂ってしまいました。熊本地震で被災された方も大勢いらっしゃると思います。謹んでお見舞い申し上げます。熊本大学、工学部、社会環境工学科も被災し、社会環境工学科は工学部 1 号館が使用できないため、工学部内の空き部屋に分かれて仮住まいしている状態です。そのようなわけで、蘇遙会事務局も教室事務室が借りている部屋に同居させてもらっている状態です。そのため、例年より種々の作業が遅れています。ご容赦願います。

さて、6 月に遅れていました今年度の運営委員会を開催いたしました。そこで、昨年度の事業・収支報告と今年度の事業・予算案の審議をさせていただきました。問題になったのは 28 年度の予算案についてです。このところ毎回、会費の納入状況が悪く、繰越しが次第に減ってきておりましたが、28 年度は繰越しが出来ない状況に陥りました。昨年度の秋の臨時の運

営委員会で会費を 2 カ年で 5000 円を今年度 28 年度から毎年 3000 円に変更させていただきましたが、27 年度の決算状況が予想を下回り、さらに収支状況が悪くなり、会費を 3000 円にしても現状では 28 年度は繰越しが出来ない見込みが予想されています。これを改善するには会費の納入状況を高くするほかに手はなさそうです。皆様の蘇遙会への理解を深めていただき、会費の納入へ御協力をぜひとも宜しくお願い申し上げます。

そのようなわけで、蘇遙会の事業内容も変わってきております。まず、蘇遙会会員名簿の紙による印刷物の作成は行わずに、WEB 上の蘇遙会のホームページから会員名簿を見てもらうことになりました。また、蘇遙会の情報誌も大きく改訂し、ページ数を減らして発行することになりました。ただし、学生への支援は、学生が頑張っているの、これまで通り、継続していくことになりました。御理解と御協力をお願いします。

名簿データの更新やホームページへの投稿も WEB 上の蘇遙会のホームページ

からお願いします。これで簡単に名簿更新ができるようになりましたので、若い卒業生の方々をはじめ多くの方々に是非ご利用頂きたいと考えています。

各支部の活動については地元の熊本が少し低迷していますが、東京、北九州では若い卒業生の参加が増えており、他支部の今後一層の活性化が望まれます。また、東京支部には出前授業を行っていただいておりますが、卒業生と教室・学生との親睦をさらにはかって行きたいと考えています。卒業生の皆様のご意見を伺いながら「蘇遙会」が同窓会としての役割を果たしていけるように努力して行きたいと考えています。

会員の活動であるクラス会の開催等の情報や報告も「蘇遙会ホームページ」や「蘇遙会情報誌」に掲載していきたいと考えていますので、情報提供をお待ちしています。

今後も蘇遙会会員の皆様のご協力をよろしくお願いします。

# 熊本地震と熊大、 社会環境工学科

4 月 14 日以降の大学は…

本年 4 月 14 日以降の一連の地震は、美しい熊本とそこに在った我々の日常をあまりにも無残に、冷酷に踏み躪り、熊本の地に計り知れない苦痛と悲劇をもたらしました。

本学にとっても、第 3 期中期目標期間初年度を迎え、これから教職員一丸となって、未来への跳躍を試みようとしたときにこのような天災に向き合わなければならないことは、極めて残念であります。

しかしながら、我々大学人は、大学人である限り、人類の叡智をもってしても防ぐことのできない災害に怯むことなく、連綿と受

け継がれてきた知的活動を発展させ、次の世代に繋いでいかなければなりません。熊本の惨状を聞きつけた全国の国立大学から支援の申し出をいただいております。これらの支援に応えることも我々の使命だと思えます。

教職員、学生の皆様におかれましては、ご自身が被災されているにも関わらず、大学の避難所や各地域の避難所等で様々な形で支援の輪に加わり活動されていることに感謝いたします。

また、研究拠点大学の構成員として我々は、知的活動を集積し、新たな知を創造し、社会の発展に寄与しなければなりません。そのためには、出来るだけ早く、教育研究環境を回復させることが必要だと考えます。

我々はこの震災からの早期復旧を成し遂

げなければなりません。熊本の地に支えられ、地域とともに成長してきた本学が、熊本の復興のためにまず成すべきことは、我々が一日も早く、震災前よりも活力ある大学として復活を遂げることです。我々が取り戻すべき活力は、必ず熊本復興の原動力になると信じております。

本学の有する最大の資産は、その構成員である皆様です。皆様一人ひとりの尽力がなければ、この艱難辛苦を乗り越え、本学が本来の姿を取り戻すことは出来ません。

これから立ち向かわなければならない困難は計り知れませんが、皆様の持てる力を結集し、教育研究に活気を取り戻し、熊本の復興に尽力できる熊本大学の再生に取り組んで行きますので、何卒ご協力をお願いいたします。(大学 HP より)

教室をご卒業なさった先輩諸氏の皆様、ならびに平素より蘇遙会活動を支えていただいております皆様に心より感謝申し上げます。

ご存知のように、この 4 月、熊本は近年まれに見る大地震に見舞われました。震度 7 クラスの地震が立て続けに 2 回起こり、さらにその後も大きな余震が続くなど、熊本では想定外の震災でした。熊本大学も建物や施設設備が大きな被害を受けましたが、人的被害がほとんど無かったというのが何よりの救いです。一方、社会環境工学科の事務室と多くの研究室が入っていた工学部一号館は立入禁止となり、教員と研究室学生諸君は散り散りとなって、今も不自由な仮住まい生活を余儀なくされています。

現在、熊本大学には当教室の先生方を中心とする「減災型社会システム実践研究教育センター」があり、震災直後から、多くの先生方が被災地に向かわれました。また、当学科学生の自主的な防災ボランティア組織である「熊助組」も、深刻な被害を受けた益城町等を中心に献身的な被

## 学科長挨拶 川越 保徳

災者救援活動にあたってきました。自然災害に向き合う上で、社会環境工学、土木工学の果たす役割の大きさを痛感します。

震災関連以外については、4 月 1 日付で教員が所属する組織が「大学院自然科学研究科」から「大学院先端科学研究部」となりました。研究部には、4 つの部門が設置され、旧来の「講座」は廃止されました。

教職員の異動については、この 3 月に 34 年余の永きに亘って本学の研究・教育活動を牽引されてきた津政康先生がご卒業されました。先生はこの 4 月から京都大学に移られ、今も益々元気に研究を続けられておられます。次に、中條壮大助教がご自身の母校である大阪市立大学に異動されました。中條先生は、4 年前に本学に赴任され当教室の研究・教育に大きく貢献されました。一方、昨年 12 月には、伊藤紘晃先生が新助教として赴任

されました。ご専門は流域ベースでの物質循環です。さらにこの 4 月には、海岸工学がご専門の辻本剛三先生を教授として、構造材料工学がご専門の尾上幸造先生を准教授としてお迎えしました。

卒業および入学関係については、去る 3 月 25 日に大学院修了式と卒科式が行われ、博士前期課程修了者 (30 名) と社会環境工学科卒業生 (77 名) に対して学位記が授与されました。また、本年度 4 月 4 日には 73 名の新入生と 6 名の編入生を社会環境工学科に、37 名の大学院生を社会環境工学専攻に迎え入れることができました。

今後も学生の就職など、蘇遙会の皆様方にはお世話になる機会が多々あろうかと存じます。今後ともお力添えとご支援のほど宜しくお願い申し上げます。未筆ながら皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りしております。

# 工学部の復興にご支援を 120 周年事業と復興事業

## 熊本大学工業会

この度の熊本地震で熊本大学が受けた被害は甚大で、昭和 28 年の「6.26 大水害」を越えるほどの災害となりました。

多くの同窓の皆様から工業会事務局に災害見舞金あるいは義援金に関する問い合わせがありました。工業会はこれら個人やグループのご好意をまとめて、効果的な工学部の復興支援策につなぐことを考えています。

ご存知のように、工業会は「工学部の創立 120 周年記念事業」を支えるために平成 27 年 4 月から募金を始めています。この記念事業の趣意は、「①工学部の 120 年を顧みる機会をつくり、それを機に、②これからのグローバル社会で熊本大学の存

在感を高める人材育成プロジェクトを始動させる」というものであります。これは今次の震災から工学部が復興へ向かう想いと大筋で重なっています。

そこで、工業会は 120 周年事業と復興事業を関連させながら進めるのが至当と考え、{工学部創立 120 周年記念事業支援} + {工学部復興事業支援} を目的として浄財を募ることと致します。振込先は下記の工業会の口座とし、浄財は 120 周年事業と復興事業に折半させていただきます。

創立 120 周年を機に母校を想う心を結集して、母校の復興の後押しする力にしましょう。

【振込先】

郵便局振替口座記号番号：

0 1 9 4 0 - 8 - 1 0 1 2 3

名義：熊本大学工業会

(通信欄へ「工学部支援」とお書きください)

### お問い合わせ

熊本大学工業会事務局

TEL：096-342-3819

E-mail：honbu@k-kogyokai.net

## 熊本地震復興事業基金の設置について

### 熊本大学基金

この度の平成 28 年熊本地震により熊本大学学生・教職員をはじめ、施設、設備にも多大な被害を受け、現在、熊本大学は本来の大学機能を取り戻すべく復興に全力を注いでいるところです。また、多くの企業・団体・個人の方からは、多数の寄附金（義援金）のお申し入れをいただいております。心より感謝申し上げます。

そこで、熊本大学としましては、これらのお申し入れをお受けするため、従来の熊本大学基金に「熊本地震復興事業基金」を設置いたしました。

つきましては、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### ◆熊本地震復興事業基金（新規設置）

復興事業基金については、学部、研究科、研究所等への個別の支援を特に希望される場合には、申込の際に、寄附目的

等にご記入ください(注)。ただし、その内 50%は被災した学生や留学生への修学支援の資金として全学的に使用させていただきます。

- 注) ・医学部保健学科指定の場合はその旨ご記入ください。  
・生命科学研究部をご指定で、医学、薬学、保健学までご指定がある場合はその旨ご記入ください。

熊本地震復興事業基金については、下記の方法によりお申込みください。

#### ■払込用紙によるご寄附

(個人様及び法人・団体様)

「寄附申込書」をホームページからダウンロードいただくか、下記連絡先までご請求ください。同申込書に必要事項をご記入・ご捺印の上、同じく下記連絡先までお送りいただきますと、折り返し、熊本大学基金「お

振込依頼書」をお送りいたします。

(個人様のみ)

なお、個人様の場合、ホームページから「Web からのお申込フォーム」に必要事項をご入力の上、お申込みいただけます。その場合、最後の画面でお振込先が表示されますので、そちらの口座までお振り込みください。

ホームページ

熊本大学→熊本地震復興事業基金→

熊本地震復興事業基金のお申込み

[http://www.kumamoto-u.ac.jp/kin/fukkou/fukkou\\_moushikomi](http://www.kumamoto-u.ac.jp/kin/fukkou/fukkou_moushikomi)

kin/fukkou/fukkou\_moushikomi

### お問い合わせ

熊本大学 基金・同窓会事業室

〒860-8555

熊本市中央区黒髪 2-39-1

TEL：096-342-3129、2029

# 研究室だより

震災のため、他の建物に仮住まいをしている研究室もあります。

## 1\*\*\*\*\*研究室(〇〇・□□研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思っておりますので、お手持ちの写真を添付いただきますようお願いのほどよろしくお願いたします。

## 2\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)

4月11日の前震時には3名の学生が3階の研究室に残っていました。激しい揺れに取るものもとりにあえず避難し、体育館で朝まで過ごしました。以降、研究室には学生は立ち入れず、本震後も研究室の様子は写真でしか見ていません。写真で見た研究室にはパソコンが床に落ち、椅子や本棚は倒れていました。

現在、△△棟の〇〇研究室に相部屋で借り住まいをしています。先輩が他の残したデータや文献などが揃っておらず、4月から研究室に入ったばかりの4年生はかわいそうです。先生のご指導の下、今後も研究にまい進していきたいと思っております。

【修士1年 M】



上段右より  
1〇〇研究室  
2〇〇研究室  
3〇〇研究室



下段右より  
4〇〇研究室  
5〇〇研究室

## 3\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)

△△棟の〇〇に研究室を移して、学部4年●名、M1年●名、M2年●名が学んでいます。以前の1号館に比べるとエアコンも効かず大変過酷な環境の中、学生たちは勉学に励んでいます。

今年の研究テーマは下記のとおりです。

熊本地震の発生により、当初予定していたテーマを変更しているものもあります。1ヶ月近いプランクがありました。最後までやり遂げてくれるものと信じています!

- ・ テーマ1
- ・ テーマ2
- ・ テーマ3
- ・ テーマ4

【教授 〇〇】

## 4\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思っておりますので、お手持ちの写真を添付いただきますようお願いのほどよろしくお願いたします。

## 5\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思っておりますので、お手持ちの写真を

添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。

**6\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)**

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹  
介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生  
の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研  
究テーマについて。震災による研究室の被害などが  
ありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載し  
ていましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真  
等を掲載したいと思いますので、お手持ちの写真を  
添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。

**7\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)**

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹  
介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生  
の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研  
究テーマについて。震災による研究室の被害などが  
ありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載し  
ていましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真  
等を掲載したいと思いますので、お手持ちの写真を  
添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。

**8\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)**

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹  
介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生  
の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研  
究テーマについて。震災による研究室の被害などが  
ありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載し  
ていましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真  
等を掲載したいと思いますので、お手持ちの写真を  
添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。



上段右より  
6〇〇研究室  
7〇〇研究室  
8〇〇研究室

下段右より  
9〇〇研究室  
10〇〇研究室

**9\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)**

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹  
介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生  
の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研  
究テーマについて。震災による研究室の被害などが  
ありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載し  
ていましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真  
等を掲載したいと思いますので、お手持ちの写真を  
添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。

**10\*\*\*\*\*研究室(〇〇研究室)**

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹  
介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生  
の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研  
究テーマについて。震災による研究室の被害などが  
ありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載し  
ていましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真  
等を掲載したいと思いますので、お手持ちの写真を  
添付いただきますようご協力のほどよろしくお願  
いいたします。

12\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

13\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

14\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。



上段右より  
11〇〇研究室  
12〇〇研究室  
13〇〇研究室

下段右より  
14〇〇研究室  
15〇〇研究室

15\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

16\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

17\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による200字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。



17\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

18\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

19\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。



20\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

21\*\*\*\*\*研究室 (〇〇研究室)

担当教官または学生による〇〇字程度の研究室紹介文を作成願います。内容は教官の研究紹介、学生の人数(氏名などの個人情報掲載しません)、研究テーマについて。震災による研究室の被害などがありましたらお書き添え願います。

研究室の写真について、例年は集合写真を掲載していましたが、今年は被害状況や仮研究室での写真等を掲載したいと思えますので、お手持ちの写真を添付いただきますようご協力のほどよろしくお願いたします。

上段右より  
16〇〇研究室  
17〇〇研究室  
18〇〇研究室

下段右より  
19〇〇研究室  
20〇〇研究室  
21〇〇研究室

◆平成 28 年 3 月学部卒業生進路

国土交通省、農林水産省、労働基準監督署、熊本県、福岡県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、山口県、熊本市、福岡市、北九州市、宮崎市、鹿児島市、(株)奥村組、(株)若築建設、九鉄工業(株)、佐藤工業(株)、大成建設(株)、(株)ヤマックス、(株)十八測量設計、日本国土開発(株)、(有)米野設計事務所、中央コンサルタンツ(株)、八千代エンジニアリング(株)、三井共同建設コンサルタント、福岡県南広域水道企業団、西日本高速道路(株)、熊本大学院自然科学研究科前期課程、九州大学大学院工学府、早稲田大学大学院創造理工学研究科、(株)ゼネラルアサヒ、野村證券(株)

◆平成 28 年 3 月大学院卒業生進路  
環境省、熊本市、徳島大学、(株)フジタ、西松建設(株)、(株)大林組、清水建設(株)、大成建設(株)、(株)安藤ハザマ、(株)NIPPO、玉野総合コンサルタント(株)、川田工業(株)、八千代エンジニアリング、いであ(株)、サンスイコンサルタント(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)構造計画研究所、(株)福山コンサルタント、九州建設コンサルタント(株)、通信土木コンサルタント(株)、大日本コンサルタント(株)、瀧上工業(株)、(株)戸高鋳業社

◆社会環境工学科学生数

【学部】 1年:72名  
2年:76名  
3年:76名  
(うち編入4名)  
卒研未着手:14名  
4年:74名  
【修士】 1年:41名  
2年:48名  
【博士】 27名

※学生数はH28年4月末現在の留学生、10月入学予定者、社会人ドクターおよび休学者を含む。

◆退職と新任教員

※カッコ内は新任地および前任地

【退職】  
2016年3月  
大津 政康 教授 (京都大学)  
中條 壮大 助教 (京都大学)

【新任】  
2015年12月  
伊藤 紘晃 助教 (山形大学)

2016年4月  
辻本 剛三 教授 (神戸高専)  
尾上 幸造 准教授 (宮崎大学)

◆卒業生の動向

【物故者】2016年1月～3月にご連絡があった方

- ・熊本高等工業学校 S17 卒 村上 公夫 様(2006年2月逝去)
- ・熊本高等工業学校 S19 卒 西原(浦川) 秀幸 様(2015年3月逝去)
- ・熊本高等工業学校 S25 卒 三原 節夫 様(2015年11月逝去)
- ・熊本高等工業学校 S26 卒 宮副 昭二 様(2015年3月逝去)
- ・熊本大学工学部 S29 卒 伊藤 達次 様(2015年7月逝去)

◆会員情報を確認願います

蘇遙会では名簿を発行いたしません、会員のデータは同窓会システムで保管されております。会員以外の方の閲覧はできませんが、情報の公開・非公開を選択できます。ご自身の情報の公開設定を今一度ご確認ください。

事務局より

会費納入のお願い

蘇遙会は皆様から納入いただいた会費で情報誌の発行、ホームページの運営などを行っています。近年、会費の納入数が減少しています。蘇遙会は、卒業生の皆様が学科の様子や同窓生の動向を知ることが出来る場です。情報の発信を続けるために、また、在学中の学生の活動を支援するために、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

平成28年度からは会費が年間3,000円に変更となり、名簿の発行もいたしません。

編集後記

熊本地震により、お亡くなりになられました方々へのご冥福をお祈りしますとともに、被災されました皆様方に心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地

の復旧・復興のために、全国各地から多くの方々が駆け付け、ご尽力いただきましたことに深く敬意を表すとともに、厚く御礼申し上げます。さらに、県内の熊大土木出身の皆様にも昼夜を問わず作業をいただいたことと思います。本当に頭の下がる思いです。

今年には熊本のみならず各地で大雨や台風の被害も出ていますが、私たちの日頃の心がけ次第で防ぐことができた被害もあったのではないかと悔やまれます。

工学部1号館は2階部分の被害が大きく、現在は建て替えの検討が行われています。1号館の立ち入り禁止に伴い、社会環境工学科事務室と蘇遙会事務局はGeek事務局に間借りしています。重要な書類や一部の備品を持ち込みましたが、若干の不便は否めません。ただ、今までは1人部屋での作業だったのが、一気に3人の女子部屋となり、いろいろな話題で盛り上がっています。(森永)

〒860-8555 熊本市中央区黒髪2-39-1

熊本大学工学部 社会環境工学科 蘇遙会

電話 096-342-3531(土木系事務室)

Eメール soyoukai@kumamoto-u.ac.jp

※工学部1号館から共用棟黒髪3(旧工学部3号館)6階へ仮移転中です。